

## 「マヌーラ（象）」人のために全力で

今日で76日間登校した2学期は終わりです。楽しかったこと、うれしかったこと、いやだったこと、悲しかったこと、色々なことがあったと思います。一番記憶に残っていることは何ですか？

さて、2学期の始業式、校長先生がみなさんにお話したこと覚えていますか？  
これです。ドラえもんタイムマシンでしたね。どんなお話だったか覚えていますか？ のび太君が宿題をドラえもん頼んで、ドラえもんがタイムマシンでちょっと前のドラえもんを自分で呼んできて、宿題をした話でしたね。



校長先生は、みなさんに、「2学期は、自分のためばかりではなく、他人のために時間を使って下さい。」とお願いしました。どうでしたか？ 友達のために時間を使うことはできましたか？

では、終業式、校長先生の今年最後のお話は、「象」のお話です。元上野動物園の中川園長さんから聞いたお話です。

その象の名前は「マヌーラ」と言います。とても元気な象でした。ある日、このマヌーラが病気になり、熱が出てしまいました。熱で目が潤み、体が震え、食欲もなくなりました。マヌーラはよろよろしながらも、必死に立ち続けていました。象は大きな動物なので、一度横になってしまうと、再び起き上がることが難しくなるからです。

そんなマヌーラを見ていた二頭の象がいました。その二頭が不思議な行動を始めたのです。一頭が右から、もう一頭が左から並ぶようにして、マヌーラに体を寄せていくのです。そして、左右からマヌーラを支え始めたのです。マヌーラはびっくりした顔をしましたが、やがてその意味がわかり、安心したように体をあずけました。そんなことが二週間続きました。やっと、少しずつマヌーラは元気になっていきました。すると、マヌーラを支えていた二頭は、今度は一頭ずつ交代でかわりばんこに支えるようになりました。これも二週間以上続きました。なんとマヌーラが病気になって一カ月以上にわたって、象たちはこの行動をずうっと続けたのです。そのおかげでマヌーラはすっかり元気になることができました。



この三頭は、親子でも兄弟でもありません。でも、一緒に暮らしている仲間を支える強い気持ちが生まれていたのだと思います。

この2学期の76日の間に、象たちのようにみなさんは友だちのために一生懸命何かをしてあげたことありましたか？ 自分自身ががんばることと同じ位、人のために、友だちのためにがんばってあげたことありましたか？ 校長先生はきっとあったと思います。そして、三学期にもきっとあると信じています。

挨拶も人と人とのかわりの中でするものです。相手があって、その人のために、そして自分のために、気持ちのいい挨拶をするのです。

明日から始まる冬休みは、今年の終わり新しい年の始まりがある「年末・年始」があります。年末・年始は挨拶をする機会がたくさんあります。相手への気持ちをこめて挨拶してほしいと思います。

では、2学期の最後、今年の最後に、勉強や挨拶、お友達への思いやりなど頑張ったので、「ありがとうございました」とみんなで挨拶をしましょう。

お友達に、お世話になった先生方に、自分自身に、六小の校舎に、心を込めて挨拶します。まずメダルを持っている「あいさつ名人」のみなさんに見本を見せてもらいます。では、どうぞ・・・素晴らしいですね。

では、全校のみんなで声を合わせてあいさつしましょう。「ありがとうございました」

では、新年1月10日（火）、3学期始業式に、またみんなで元気に会いましょう。